

都市再生整備計画 事後評価シート
春日西部地区

平成29年3月

愛知県清須市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	清須市		地区名	春日西部地区			面積	170ha			
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	706百万円		国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	・道路(市道下之郷六角堂線整備) ・公園(春日学校橋西1号公園整備、春日学校橋西2号公園整備、春日新橋西1号公園整備) ・高質空間形成施設(水辺の散策路整備事業)											
		提案事業	・地域創造支援事業(区画整理助成金事業:春日学校橋西、春日新橋西部地区 まちづくり活動支援事業:春日学校橋西、春日新橋西部地区) ・まちづくり活動推進事業(農業体験イベント活動)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	—		—				—					
	新たに追加した事業	基幹事業	—		—				—					
提案事業		・事業活用調査(事後評価分析業務)		・事後評価に必要な資料作成を追加				—						
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				—						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	消防活動困難区域率	%	32	H23	0	H28	モニタリング	評価値	○	あり	○	区画整理の実施により、面的に道路が整備され、消防活動が円滑にできる環境が整った。	平成29年4月
								なし	0		なし			
	指標2	公園利用可能人口の増加	人	0	H23	318	H28	モニタリング	評価値	○	あり	○	公園が不足する本地区において新たに公園を確保したことで、公園利用可能人口が増加した。	平成29年4月
なし								321	なし					
指標3	まちづくり活動参加人数	人/年	0	H23	100	H28	モニタリング	評価値	○	あり	○	喫緊の課題であるまちづくりのルールや公園のプラン作りをワークショップ方式で実施したことにより参加意識が高まった。また、農業体験イベントでは地域の特色を再発見し、それをイベントにつなげることで参加者を確保することができた。	なし	
							なし	669		なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	—	—	—	—	—	モニタリング	評価値	—	あり	—	—	—	
							なし	—		なし				
その他の数値指標2	—		—		—		モニタリング	評価値	—	なし	—	—	—	
4)定性的な効果発現状況	—													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた					—			
	住民参加プロセス	まちづくりルール、公園プラン、農業体験イベントについて、ワークショップ等を実施した				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					● 地域のまちづくり活動として、公園清掃や防犯活動等を行うことができるように支援を行う。			
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた					—				

様式2-2 地区の概要

春日西部地区(愛知県清須市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標名	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	評価値	目標値
田園に囲まれて、健やかに安心して暮らせるまちづくり	消防活動困難区域率	単位: %	32	H23	0	H28	0	H28
	公園利用可能人口の増加	単位: 人	0	H23	318	H28	321	H28
	まちづくり活動参加人数	単位: 人/年	0	H23	100	H28	669	H28

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 市道下之郷六角堂線は整備されたが、周辺に狭隘な細街路が残っており、整備が必要である。 土地区画整理事業の施行地区外では、狭隘な道路や公園の不足地が残っている。 地域の特色である農地の景観とマッチした住環境の整備が必要となっている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の狭隘道路について、防災性や防犯性、住環境の向上のために整備計画の立案等の検討を行う。 市道下之郷六角堂線の整備に伴う新たな交通の流れを把握した上で、交通環境の安全性を確保するために、イメージハンプ等の検討を行う。 公共施設へのアクセスルートを整理し、サイン計画等の立案等の検討を行う。 既存集落を含めた地区の特色を活かしたまちづくりルールの立案等の検討を行う。 市民活動として公園の清掃や防犯活動が実施できるように支援等の検討を行う。